平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

| 1. 基本 | 情報 | | | | | | | | | | |
|-------|----|----------|----------|------|----------------|--------------|------------------|----------|--------------|------|--------------------|
| 事務事 | 業 | 01020202 | 00020104 | 主 | 世夕 | 口幼児 | 音理総務管理事 務 | 女主类 | · | 担当部 | 総務部 |
| コー | *, | 01020202 | 00020104 | 争协学 | 未 石 4 | 以 附1日 | 生形伤目生于伤 | 7 尹未 | | 担当課 | 収納課 |
| 政策4 | 名 | 07 | 新たた | s行政経 | 営による | 5まちつ | づくり | | | グループ | 収納課第1・2・3グループ |
| 施策4 | 名 | 01 | 健全人 | な財政運 | 営の推 | 進 | | | | 電話番号 | 45-5111 |
| 基本事業 | 業名 | 01 | 歳入の | の確保 | | | | | | 内線番号 | 1411 • 1421 • 1427 |
| 予 | 会計 | 一般 | 会計 | | | | | ± ** | □ 単年度のみ | | |
| 予算科目 | 款 | 02 | 総務署 | 費 | | | | 事業期間 | ■ 単年度繰返 (開始年 | F度 S | 25 年頃~) |
| 科 | 項 | 02 | 徴税 | 費 | | | | 拗川山 | □ 期間限定複数年度(| | ~) |
| 目 | 目 | 02 | 賦課律 | 數収費 | | | | 根拠法令·条例等 | 霧島市税条例、地方税法 | 等 | |
| 評価区 | 分 | 1 | 簡易評 | 2価 | 評価が | 対象 | 1次評価 | 関連計画 | | | |

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

過年度において市税の納付があり、確定申告、修正申告、更正・決定等により市税が減額する納税者に地方税法第17条(過誤納金の還付)の規定に基づき、市税の過年度分の過誤納金を還付するとともに、第17条の4(還付加算金)の規定により、還付に係る加算金を支出する事務。

| ิส |) 活動指標 (事務事業の活動量) | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----|--------------------|------------------|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| _ | | | | (実績) | (実績) | (実績) | (見込) | (見込) |
| ア | 市税の還付件数 | | 件 | 1,590 | 1,891 | 1,203 | 1,600 | 1,600 |
| 1 | 市税の還付金額 | | 千円 | 104,379 | 54,678 | 73,466 | 78,000 | 78,000 |
| ゥ | | | | | | | | |
| (2 | 2) 事務事業の目的 | | | | | | | |
| _ | 対象 | ③ 対象指標 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| (| 誰、何を対象にしているのか) | (左記②対象の大きさを表す指標) | | (実績) | (実績) | (実績) | (見込) | (見込) |
| ア | 納税者 | | | | | | | |
| 1 | 市税を還付すべき人 | | | | | | | |
| ゥ | | | | | | | | |
| 4 | 意図 | ⑤ 成果指標 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| (| ②対象をどうしたいのか) | (左記④意図の達成度を表す指標) | +12 | (実績) | (実績) | (実績) | (目標) | (目標) |
| ア | 適正な還付(還付未済の減) | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | |
| ゥ | | | | | | | | |
| (; | 3) 上位の基本事業 | | | | | | | |
| 6 | 基本事業の意図 | ⑦ 基本事業の成果指標 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| (; | さらにどのような成果に結びつくのか) | (左記⑥意図の達成度を表す指標) | 半世 | (実績) | (実績) | (実績) | (目標) | (目標) |
| ア | 適正な債務履行 | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

市税の還付に係る根拠法令である地方税法の改正はないが、平成24年~25年頃、給与所得者らの還付加算金の未払い問題が全国的に発生した経緯があった。今後の税制改正や更なる消費税率引上げの動向を的確に把握していく必要がある。特に個人市民税・法人市民税については、その年度の地域経済動向や企業利益等の状況により変動するため還付額にも大きな影響を及ぼすこととなる。

| 1 | 車台 |) 建 | ω± | 推移 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----|-----|------|-------|-----------|----|---|----|------|------|--------|--------|--------|
| + | 777 | R IR | ,V) 1 | 进刊夕 | | | 中世 | (決算) | (決算) | (決算) | (計画) | (計画) |
| | | | 玉 | 庫3 | を出 | 睁 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 事 | 財 | 県 | 支 | 出 | 金 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 事業費 | 財源内訳 | 地 | ブ | 5 | 債 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 費 | 訳 | そ | 0 |) | 他 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| 投入量 | | | _ | 般 | 財 | 源 | 千円 | | | 73,466 | 50,000 | 50,000 |
| 量 | | 事 | 業 | 費 | | | 千円 | 0 | 0 | 73,466 | 50,000 | 50,000 |
| I - | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

【還付件数 1, 203件】 市県民税 824 軽自動車税 32 824件 32件

固定資産税法人市民税 119件 228件

【還付金額 73, 466, 496円】 市県民税 軽自動車税 76, 900円 固定資産税 2, 295, 600円 法人市民税 55, 635, 900円

地方税法に係る法定事務であり、適正な課税と更正・決定等による迅速な還付・充当事務処理により税務行政への信頼性向上に努めた。 基幹系システムAcrocity及びAcro収納支援システムにより迅速な還付

金幹ポスペンスAcrockty及びAcrockが入る。 ・充当事務処理を行った。 本市に事業所を置く企業の法人市民税の確定申告に伴い、過年度に納付済の法人市民税について、25,000千円を超える額の還付金及び還付加算金が発生したため、予算不足について7月に専決補正し、速やかに還付処理を行った。

| | ■務事! コード | | 02020200020104 | 事務事業名 | 収納官: | 理総務管理事 | ₱務爭耒 | 担当部 | ηΔ: | 納課 |
|--------------------------------|--|--|--|--|---|---|---|--|---|---|
| 6. ‡ | 振り返 | り <s< th=""><th>E></th><th>7 11 12</th><th></th><th></th><th></th><th>理由</th><th>•</th><th>NT JUN</th></s<> | E> | 7 11 12 | | | | 理由 | • | NT JUN |
| | _ | | 事業の目的は、基本 | 事業の意図に終 | きびついています | か? | | | | |
| |) | | びついている | | | | | | | |
| A | | - | 接的に結びついて | いる | | _ | | | | |
| 的 | | | びついていない | | | | | | | |
| A目的妥当性 | | この事業 | | | りですか? | | | | | |
| <u> </u> | | _ | 入して達成する目的 当である | りですが? | _ | _ | | | | |
| - | | | 直す必要がある | | | | | | | |
| | (3) pt | | 上する余地(可能性 | :) はありませんか | N ? | _ | | | | |
| |) | | 上する余地はかな | | | _ | | | | |
| | | | 上する余地はある | | | | | | | |
| | | | 上する余地はほとん | | | | | | | |
| | (4) | 訓・休』 | の影響はありませ | 6.th? | | | | | | |
| B有効性 | Ŭ | | | | | _ | | | | |
| 性 | | | 雪がめる 響がほとんどない | | | | | | | |
| | 企 数 | 三 の目 | | は形態(イベントや) | 啓発等)を持つ他 | の事務 類似 | 以事業がある場 | | | |
| | 7 | | ませんか?(市以外 | ・の主体が実施する | 5ものを含む。) | 台0. |)事務事業名等 | | | _ |
| ŀ | | | 似の事業はあるが | 統合又は連携 | できない | | | | | |
| | | | 似の事業があり、総 | | | | | | | |
| _ | © ·1 | 事務事業 | の手段(やり方)を工夫 | することで、事業費 | せん しょうしょ せんしょう しょく | | 税法の規定によ | | | 量付金及び3 |
| - | , | | <mark>、交付先に働きかけ</mark> 滅できない | て、市の負担を削減 | 或できませんか? | 1寸(二分 | 《る加算金の支』 | 出という義務的制 | 全質のため。 | |
| | | | | | | | | | | |
| C | | | | | | | | | | |
| 効率 | 3 | 事務事業 | 減できる <mark>D手段(やり方)を工夫</mark> | することで、人件書 | 貴(延べ業務時間): | を削減 基幹 | 系システムAcr | ocity及びAcro | 収納支援シスラ | テムの運用と |
| 効 | (7) T | 事務事業 | の手段(やり方)を工夫 | | | <mark>を削減</mark> 基幹 築によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが | 収納支援システム・ | テムの運用と削減している |
| 効率 | ⑦ で: | 事務事業きません。職員以外 | D手段(やり方)を工夫 \? | | | を削減 基幹 築によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが | 収納支援シスラ ら、業務時間を | テムの運用と 削減してい |
| 効率 | ⑦でで ・1 | 事務事業 きません; 職員以外 | の手段(やり方)を工夫)? の対応や委託により人 | | | <mark>を削減</mark> 基幹 築によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが | 収納支援システ ら、業務時間を | テムの運用と 削減してい |
| 効率性 D | ⑦で! ・! 8 | 事務事業さません。 | D手段(やり方)を工夫)? D対応や委託により人 滅できない | 件費を削減できま | せんか? | を削減 基幹 楽によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが | 収納支援システら、業務時間を | テムの運用と 削減してい |
| 効率性 D | 7 で: ・ I 8 事ま | 事務事業される 議員以外 ■ 肖 □ 肖 ■ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | D手段(やり方)を工夫 ハ? D対応や委託により人 減できない 減できる D内容が一部の受: | 件費を削減できま | せんか? | を削減 基幹 築によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及び A cro 短縮を図りなが | 収納支援シスラら、業務時間を | テムの運用と 削減してい |
| 効率性 D | ⑦で: 8 ま | 事務事業は ・ | D手段(やり方)を工夫 ハ? D対応や委託により人 減できない 減できる D内容が一部の受: 者負担の公平し | 件費を削減できま | せんか? | を削減業によ | 系システムAcr り、事務処理の | ocity及び Acro 短縮を図りなが | 収納支援システ ら、業務時間を | テムの運用と 削減してい |
| 効率性 D公平性 | ⑦ で: 8 ま | 事務事業が 職員以外 ■ 肖 肖 書務事要立 | D手段(やり方)を工夫 ハ? D対応や委託により人 減できない 減できる D内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である | 件費を削減できま 益者に偏っている が確保されていま | せんか? ませんか? すか? | 築によ | り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが | 収納支援シスラら、業務時間を | 削減してい |
| 効率性 D公平性 7. | 8 事 | 事務事業計 書きませんが 計 計 計 まき 能 員 以 外 当 き き で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | の手段(やり方)を工夫 ハ? の対応や委託により人 減できない 減できる の内容が一部の受き 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある | 件費を削減できま 益者に偏っている 「確保されていま | せんか? ませんか? すか? | 集によ | り、事務処理の | 短縮を図りなが | 収納支援シスラら、業務時間を | テムの運用と 削減している ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
| 办率性 D公平性 7. 1 | 8 事 | 事務事業が ・ | Pi手段(やり方)を工夫 (マラウン) 対応や委託により人 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組 (本)</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っている が確保されていま | せんか? ませんか? すか? | 築によ | り、事務処理の | ocity及びAcro 短縮を図りなが 統合 | ら、業務時間を | 削減してい。 > |
| 办率性 D公平性 7. 1 | ⑦ で・・・8 事事務事 | 事務事業が ・ | P)手段(やり方)を工夫 (マラウン) を | 件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま やり方改善 度分の過誤納金 | せんか? ませんか? すか? 【参考】 コスト拡充 の環付及び環 | 年度の改革改善の コスト縮小 | 方向性≪連携 | 短縮を図りなが 統合 | ら、業務時間を 休止 に出削減を課税 | 削減している 廃止 庁(市)の側 |
| 劝率性 D公平性 (1)善 | (7) で · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 事き歳 □ 事務まは外 肖 肖 業法 □ □ 新来 □ □ □ 計算 表 □ □ □ 計算 表 □ □ □ 計算 表 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | の手段(やり方)を工夫 (マラウン) できない 減できない 減できない 減できるの内容が一部の受ける負担の公平性が 平・公正である 直す必要がある <plan>(組 経続 の 市税の過年によるが できるが、</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま やり方改善 度分の過誤納金 。のではなど。場合は、ではなでもなっ | せんか? ませんか? すか? 「◆考】 コスト拡充 の還付及び還作 学系システムAc 学延を極力生じさ | 年度の改革改善の コスト縮小 tに係る加算金 Procity及びActs せないように有 | カ向性≪ 連携 等については、スマーマの収納支援シストでの収納支持置の | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 対応をする。 | 休止 は出削減を課税な還付事務処理 | 削減している 廃止 庁(市)の側 |
| 効率性 D公平性 7. (1) 善 (2) み | (ア) で : 1 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (7) で : 1 (9) で : 1 | - *** - ** - | の手段(やり方)を工夫 ハラ からや委託により人 減できない 減できる の内容が一部の受 ・者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) な は ・ 市税導できる ・ により人 ・ の の は ・ の の は により人 ・ は で きる ・ の の は により人 ・ は で ・ の の は に は の の は に は の の は に に は の い に は に に は の い は に に は に に に は に に に に に に に に に に に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま やり方改善 度分の過誤納金基 のではない。基 | せんか? ませんか? すか? 「◆考】 コスト拡充 の還付及び還作 学系システムAc 学延を極力生じさ | 年度の改革改善の コスト縮小 tに係る加算金 Procity及びActs せないように有 | カ向性≪ 連携 等については、スマーマの収納支援シストでの収納支持置の | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 対応をする。 | 休止 は出削減を課税な還付事務処理 | 削減してい。 廃止 庁(市)の側 |
| 効率性 D公平性 7. (1) 善 (2) み | (ア) で : 1 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (7) で : 1 (9) で : 1 | 事き歳 ■ | の手段(やり方)を工夫 ハラ からや委託により人 減できない 減できる の内容が一部の受 ・者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) な は ・ 市税導できる ・ により人 ・ の の は ・ の の は により人 ・ は で きる ・ の の は により人 ・ は で ・ の の は に は の の は に は の の は に に は の い に は に に は の い は に に は に に に は に に に に に に に に に に に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま やり方改善 度分の過誤納金 。のではなど。場合は、ではなでもなっ | せんか? ませんか? すか? 「◆考】 コスト拡充 の還付及び還作 学系システムAc 学延を極力生じさ | 年度の改革改善の コスト縮小 tに係る加算金 Procity及びActs せないように有 | カ向性≪ 連携 等については、スマーマの収納支援シストでの収納支持置の | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 対応をする。 | 休止 は出削減を課税な還付事務処理 | 削減してい。 廃止 庁(市)の側 |
| 効率性 | (ア) で : 1 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (8) 事 (7) で : 1 (9) で : 1 | - *** - ** - | P 手段(やり方)を工夫 (| 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま でではない。基 をり方改善 度分の過誤納を基 ののではない。基 場合は、還付の説 の適正な申告に | せんか? ませんか? すか? 「コスト拡充 の還付及び還作 幹系システムAc 軽延を極力生じさ こ基づく課税も肖 | 年度の改革改善の コスト縮小 に係る加算金 rocity及びActs せないように 利減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス・ついでは、なっていいでは、なっていいでは、なっている方にである。 があった。 第二のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない | 短縮を図りなが 統合 その性質上、速 テムにより迅速 対応をする。 務課との連携も | 休止 日間減を課税な は選付事務の が進めたい。 | 廃止 庁(市)の側。 型に努め、子 |
| 効率性 | (3) 事ま 事ま 平成2 平善組 で でき | *** ** *** ** *** | の手段(やり方)を工夫 (マラウス) できない 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) (革 のの過ぎが、納税。 市誘アとじる。 お不定、納税者を のの過ぎが、納税者を により、還行により、還行により、還付に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま やり方改善 度分の過誤納金 。のではなど。場合は、ではなでもなっ | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 する納税者に地 | |
| 効率性 | (3) 事ま 事ま 平成2 平善組 で でき | 事き職 ■ □ 38た □ □ 15mm 事も 単 で | の手段(やり方)を工夫 (マラウス) できない 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) (革 のの過ぎが、納税。 市誘アとじる。 お不定、納税者を のの過ぎが、納税者を により、還行により、還行により、還付に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま *確保されていま *やり方改善 度分の過誤納金基。ののではない。のは、環で申告に 場への適正な中告に | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 | |
| 効率性 | (8) 事ま (1) 次評・ 事務の方に 平成2 (2) 平成2 | 事き職 ■ □ 38た □ □ 15mm 事も 単 で | の手段(やり方)を工夫 (マラウス) できない 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) (革 のの過ぎが、納税。 市誘アとじる。 お不定、納税者を のの過ぎが、納税者を により、還行により、還行により、還付に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま *確保されていま *やり方改善 度分の過誤納金基。ののではない。のは、環で申告に 場への適正な中告に | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 | |
| 効率性 | (8) 事ま (1) 次評・ 事務の方に 平成2 (2) 平成2 | 事き職 ■ □ 38た □ □ 15mm 事も 単 で | の手段(やり方)を工夫 (マラウス) できない 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) (革 のの過ぎが、納税。 市誘アとじる。 お不定、納税者を のの過ぎが、納税者を により、還行により、還行により、還付に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま *確保されていま *やり方改善 度分の過誤納金基。ののではない。のは、環で申告に 場への適正な中告に | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 | |
| 効率性 | 3 事ま 事ま 平善組 アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 事き戦 ■ □ 琴た □ □ 結 の | の手段(やり方)を工夫 (マラウス) できない 減できない 減できる の内容が一部の受: 者負担の公平性か 平・公正である 直す必要がある <plan>(組) (革 のの過ぎが、納税。 市誘アとじる。 お不定、納税者を のの過ぎが、納税者を により、還行により、還行により、還付に</plan> | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 | |
| 効率性 | ② 事ま 事ま 事ま 平 | *** | 中 | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の環付及び環 を極力生じる がきり、き、市税の があり、き、市税の | 年度の改革改善のコスト縮小 はに係る加算金ででは以及び名にも、 可減の一助にも | 方向性≪ 連携 等については、ス での収納支援置の収入 なることから、税 更正・決定等に。 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、支 テ対応をする。 務課との連携も | 休止 休止 に出削減を課税な な選付事務処理 進めたい。 | |
| 効率性 | 1次評 事ま 平善組 で | *** | 中 | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の還什及び還作 軽延を極力生じき があり、確定申告 があり、確定申告 に基づさき、市税の | 年度の改革改善の コスト縮小 はに係る加算金にでは次及びActではないように有制減の一助にも | 方向性 《 連携 事務処理の 等について接シス 前 正 の 大変 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、速 対応にする。 対応課との連携も より市税が減額 こるとともに、第1 | 休止 出削減を課税 は対すな が進めたい。 する納税者に地 7条の4(還付す | ▶ 廃止 庁(市)の側。 理に努め、予 型方税法第1 型ががある。 |
| 効率性 | ② 事ま 事ま 事ま 平 | *** | 中 | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の還什及び還作 軽延を極力生じき があり、確定申告 があり、確定申告 に基づさき、市税の | 年度の改革改善の コスト縮小 はに係る加算金にでは次及びActではないように有制減の一助にも | 方向性 《 連携 事務処理の 等について接シス 前 正 の 大変 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、速 対応にする。 対応課との連携も より市税が減額 こるとともに、第1 | 休止 出削減を課税 は対すな が進めたい。 する納税者に地 7条の4(還付す | ▶ 廃止 庁(市)の側型に努め、予型が発金)の規 |
| 効率性 | 1次評 事ま 平 ま | 事き | 中 | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の還什及び還作 軽延を極力生じき があり、確定申告 があり、確定申告 に基づさき、市税の | 年度の改革改善の コスト縮小 はに係る加算金にでは次及びActではないように有制減の一助にも | 方向性 《 連携 事務処理の 等について接シス 前 正 の 大変 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、速 対応にする。 対応課との連携も より市税が減額 こるとともに、第1 | 休止 出削減を課税 は対すな が進めたい。 する納税者に地 7条の4(還付す | ▶ 廃止 庁(市)の側型に努め、予型が発金)の規 |
| 効率性 | ② 事ま 事ま 事ま 平 | 事き | 中 | 件費を削減できま 益者に偏っていま 「確保されていま 「でではない。」 「ではない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ないい。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。 | せんか? ませんか? すか? 【◆考】 コスト拡充 の還什及び還作 軽延を極力生じき があり、確定申告 があり、確定申告 に基づさき、市税の | 年度の改革改善の コスト縮小 はに係る加算金にでは次及びActではないように有制減の一助にも | 方向性 《 連携 事務処理の 等について接シス 前 正 の 大変 | 短縮を図りなが 統合 その性質上、速 対応にする。 対応課との連携も より市税が減額 こるとともに、第1 | 休止 出削減を課税 は対すな が進めたい。 する納税者に地 7条の4(還付す | ▶ 廃止 庁(市)の側。 理に努め、予 型方税法第1 型ががある。 |

| | 多事業 | 0102020200020104 | 事 務事業名 | | 収納管理 | !総務管理事務 事 | 業 | | 当部当課 | | 於務部 【納課 |
|----------|---------------|-------------------------|----------|---------|---------------------|------------------|-----------------------|------|------|--------------|---------------------|
| 9. = | コストの | 推移 | 7 117 1 | | | | | 1 | | -1, | C INT IDA |
| | | | T # 00.5 | / - | (Atr.) | 正式27年 | / \/ \ha \ar \(\max\) | | | F 00 /= === | (=1 -=) |
| | | (単位:千円) | 平成26年 | F 度 (次 | :昇 <i>)</i> ———— | 平成2/年度 | (当初予算) | | 平均 | 戊28年度 | (計画) |
| 1 | 報 | 州 | | | | | | | | | |
| 3 | 給 | 料 | | | | | | _ | | | |
| 4 | | <u>于 コ 寺</u> 済 費 | | | | | | | | | |
| 5 | | <u>"</u> 『補 償 費 | | | | | | | | | |
| 7 | 賃 | 金 | | | | | | | | | |
| 8 | 報 | 償 費 | | | | | | | | | |
| 9 | 旅 | 費 | | | | | | | | | |
| 10 | | 際 費 | | | | | | | | | |
| 11 | 需 | 用 費 耗 品 費 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | 燃燃 | | | | | | | | | | |
| | 食 | | | | | | | | | | |
| | | 刷製本費 | | | | | | | | | |
| | _ | 熱水費 | | | | | | | | | |
| | 修 | | | | | | | | | | |
| | | 材料費 | | | | | | | | | |
| | 飼 | 料 費 薬材料費 | | | | | | | | | |
| 12 | | 務 費 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| '- | _ | 信運搬費 | | | | | | | | | |
| | 広 | | | | | | | | | | |
| | 手 | | | | | | | 0 | | | |
| | 保 | | | | | | | | | | |
| 13 | 委 | 託 料 | | | | | | | | | |
| 14 | | 料及び賃借料 | | | | | | 0 | | | |
| 15 | | 請負費 材料費 | | | | | | | | | |
| 16 | | 材 料 費 財産購入費 | | | | | | | | | |
| 18 | | <u> </u> | | | | | | | | | |
| 19 | | 補助及び交付金 | | | | | | | | | |
| 20 | 扶 | 助 費 | | | | | | | | | |
| 21 | 貸 | 付 金 | | | | | | | | | |
| 22 | | 填及び賠償金 | | | | | | | | | |
| 23 | | 利子及び割引料 | | | 73,466 | | 50 | ,000 | | | 50,000 |
| 24 25 | 積 | 及び出資金 立 金 | | | | | | | | | |
| 26 | <u>相</u> 寄 | <u></u> 附 金 | | | | | | | | | |
| 27 | 公 | 課費 | | | | | | | | | |
| 28 | 繰 | 出 金 | | | | | | | | | |
| | 計 | | | | 73,466 | | 50 | ,000 | | | 50,000 |
| | 特国 | 庫支出金 | | | 0 | | | 0 | | | |
| 財 | | 支出金 | | | 0 | | | 0 | | | |
| 財源内訳 | 財源を | <u>方債</u> の他 | | | 0 | | | 0 | | | |
| 訳 | - | 般 財源 | | | 73,466 | | 50 | ,000 | | | 50,000 |
| | | 計 | | | 73,466 | | | ,000 | | | 50,000 |
| , | 補助率 | 国 | | | | | | | | | |
| | | 県 | | | | | | | | | |
| 補 | 助 | 基本額 | | | | | | | | | |
| 平成 | | ₹補正·流用∜ | | 205 | 平成26年 | 度特定財源内部 | ₹ | h +1 | | | A ## |
| | |]予算 | | 000 | | 区分 | | 名称 | | | 金額 |
| | | <mark>予算</mark> E第2号 | | 000 | | | | | | | |
| | 1.111 1 | | 21, | | | | | | | _ | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | - | |
| | | | | _ | | | | | | - | |
| | | | | | | | | | | | |

合 計

流用・充用 予算合計

77,000

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

| 1. 基本 | 情報 | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|----------|-----------|------|-------------|-----------|-------|----------|---------------------------------|------|--------------------|---|
| 事務事 | 業 | 0100000 | 207010115 | 主 | 娄夕 古 | ≓ 手光 山豆 | 以納事務 | | | 担当部 | 総務部 | |
| | ド | 0102020. | 207010115 | 争伤争 | 未有川 | 1 ሲኒር ብ X | (和)事务 | | | 担当課 | 収納課 | |
| 政策 | 名 | 07 | 新たれ | な行政経 | 営による | まちつ | づくり | | | グループ | 収納課第1・2・3グループ | プ |
| 施策 | 名 | 01 | 健全 | な財政運 | 営の推進 | 隹 | | | | 電話番号 | 45-5111 | |
| 基本事 | 業名 | 01 | 歳入 | の確保 | | | | | | 内線番号 | 1411 • 1421 • 1427 | |
| 予 | 会計 | 一般 | 会計 | | | | | ± ** | □ 単年度のみ | | | |
| 算 | 款 | 02 | 総務 | 費 | | | | 事業期間 | ■ 単年度繰返 (開始 ⁴ | F度 S | 25 年頃~) | |
| 予算科目 | 項 | 02 | 徴税 | 費 | | | | 설기타기 | □ 期間限定複数年度 | (| ~) | |
| 目 | 目 | 02 | 賦課 | 徴収費 | | | | 根拠法令·条例等 | 霧島市税条例、地方税法 | :等 | | |
| 評価区 | <u></u> | | 標準部 | 平価 | 評価対 | †象 | 1次評価 | 関連計画 | | | | Т |

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

納税義務者が納付した市税の収納状況を正確かつ迅速に把握し、適正な収納管理を行うために、収納された市税の税目、課税年度ごとの納付額の確認、重複納付等の過誤納の適正な還付、充当処理を行う。また、納期限内納付の推進のために、納付がない納税義務者に対して督促状や催告書の送付、口座振替の推進やコンビニ収納等の納付方法の拡充をする。

| 1 | 活動指標(事務事業の活動量) | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----|------------------------------|---------------------------------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | | (実績) | (実績) | (実績) | (見込) | (見込) |
| ア | 市税の現年度収納額 | | 千円 | 14,984,988 | 15,035,110 | 15,200,870 | 15,080,000 | 15,080,000 |
| 1 | 国民健康保険税の現年度収納額 | | 千円 | 2,088,429 | 2,093,451 | 2,091,013 | 2,090,000 | 2,090,000 |
| ゥ | | | | | | | | |
| (2 | :) 事務事業の目的 | | | | | | | |
| _ | 対象 准、何を対象にしているのか) | ③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標) | 単位 | 24年度 (実績) | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (見込) | 28年度 (見込) |
| ア | 市税を納めるべき人 | 現年度の課税者数(市税) | 人 | 94,442 | 95,134 | 95,385 | 95,200 | 95,200 |
| 1 | 国民健康保険税を納めるべき人 | 現年度の課税者数(国民健康保険税) | 人 | 21,040 | 20,921 | 20,619 | 20,900 | 20,900 |
| ゥ | | | | | | | | |
| | 意図 ②対象をどうしたいのか) | 5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標) | 単位 | 24年度 (実績) | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 | 28年度 (目標) |
| ア | 税金を納めてもらう | 現年度課税分の未納者数(市税) | 人 | 5,615 | 5,117 | 4,432 | 4,200 | 4,200 |
| 1 | | 現年度課税分の未納者数(国民健康保険税) | 人 | 3,056 | 2,885 | 2,566 | 2,400 | 2,400 |
| ゥ | | | | | | | | |
| (3 | り上位の基本事業 | | | | | | | |
| _ | 基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか) | ⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標) | 単位 | 24年度 (実績) | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 | 28年度 (目標) |
| ア | 債務を確実に履行してもらう | 現年度の収納率(市税) | % | 97.9 | 98.3 | 98.5 | 98.7 | 98.7 |
| 1 | | 現年度の収納率(国民健康保険税) | % | 89.4 | 89.8 | 91.3 | 91.5 | 91.5 |
| ゥ | | | | | | | | |

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

自主財源としての市税収入の確保のため、収納率の向上が強く求められている。コンビニ納付など納税の機会を拡大し、納税者の利便性を高め、納期内納付率を向上させることが求められている。長引く景気低迷による個人所得の減少や雇用情勢の悪化などにより、市民生活がいつ迫し、納税義務者を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況である。

| 4 | 車 | 生物 | לת. | 推移 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----|-----|------|------|------|----|---|-----|------|------|-------|-------|-------|
| - | 402 | | ,001 | ענים | | | +12 | (決算) | (決算) | (決算) | (計画) | (計画) |
| | | | 玉 | 庫は | を出 | 金 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 事 | 財 | 県 | 支 | 出 | 金 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 事業費 | 財源内訳 | 地 | 7 | 5 | 債 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 費 | 訳 | そ | 0 |) | 他 | 千円 | | | 0 | 0 | 0 |
| 投入量 | | | ı | 般 | 財 | 源 | 千円 | | | 1,487 | 1,584 | 1,584 |
| 量 | | 耳 | 業 | 費 | | | 千円 | 0 | 0 | 1,487 | 1,584 | 1,584 |
| _ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

【現年度の納付区分別収納件数】

<市税> 113, 136件 127, 303件 156, 466件 7, 258件 口座振替 コンビニ納付書 督促状 7 <国民健康保険税> 口座振替 43,

祝> 43, 270件 37, 993件 45, 376件 2, 484件 コンビニ納付書

納税者が納税しやすい環境づくりとして、コンビニ収納の実施、休日納税相談、また、平成24年度から取り組んでいる「納税お知らせセンター」委託業務についても、継続して行った。また、納期限日の広報手段として市広報誌・市ホームページへの掲載や納期一覧表チラシの作成・配布などをして、納期限内納付について周知を図り、併せて同チランの裏面に口座振替の案内を掲載し、口座振替の推進を図った。加えて25年度からラジオFMきりしまを通じて、口座振替の案内広報も行った。基幹系システムAcrocity及びAcro収納支援システムにより適切に決算・消込・還付・充当等の収納管理を行った。

| Ę | 事務・コー | 事業 | 01020 | 20207010115 | 事務事業名 | 1 | 市税収 | 納事務 | : | 担扣 | 当当 | 部課 | | 务部 内課 |
|--------------------|----------------------|--------------------|--|------------------------|---|--------------------------------|----------------------|--------|--|-------------|---------|-------------------|---------------------------|-------------------------|
| 6 | | 返り < | 'CEE' | | 学术石 | | | | | 担 | 理 | _ | 4X f | 州誄 |
| ٥. | _ | | | | 車業の音図に終 | 古びついています | t to 2 | 税金 | を確実に納付し | てもら | うため | りに行 | う事務であり、 | 債務を確実に |
| | <u> </u> | | | | 事業の息図に | 古のプいていまり | יאנו | | てもらうことに結 意図に結びつ | | | 136,3 | この事務事業の | の目的は、基本 |
| A | | | 1,20 | いている | | | | | | | | | | |
| A目的妥当性 | | | | に結びついてい | \ る | | | | | | | | | |
| 妥业 | | | | いていない | 1 186 > 6 | | | (金)十) | マナル・マ 日日 | 1446 | # A C | マはフ | 1.テファトル ý | おおの美勢た兵 |
| 醒 | 2 | ·この事 ·税金を | 業をな | ぜ市が行わなけ て達成する目的 | れはならない。 」ですか? | りですか? | | うとされ | において、国民 ている。加えて 又については地 | 、市税 | は市 | 財政 | の重要な財源 | 内税の義務を負 であり、その賦 |
| | | | 妥当で | ある | | | | 本"拟4 | メバニ・フィ・くりょれ | 3.7.7 17C.1 | エバース | 兄儿己 | 46(わり、女= | 1 (0)00 |
| | | | 見直す | 必要がある | | | | | | | | | | |
| | 3 | 成果が | 向上す | る余地(可能性) | はありませんだ |)\? | | | 者が納税しやす 待できる。また | | | | | |
| | | | 向上す | | ある | | | 分の未 | 待できる。また による電話又は 納者の減少が | は文書 期待で | での | 納税の | 乎びかけについ ら、この事業の | いても、現年度 向上する余地 |
| | | | 向上す | る余地はある程 | ≧度ある | | | は、ある | る程度ある。 | | | | | |
| | | | ーーー | | どない | | | | | | | | | |
| | 4) | 廢止 : 位 | 木止の暑 | /響はありません | ,ħ\? | | | 地方 | 税法に基づく事 | 務事 | 業であ | 5り、こ | の事業は廃止 | できない。 |
| B有効性 | • | | | | | | | | | | | | | |
| 畑性 | | | 影響が | | | | | | | | | | | |
| | _ | 粗似の | | 「ほとんどない +毎・音図)▽(+: | 形能(ノベントわ) | 啓発等)を持つ他 | の事務 | 料工作 | 事業がある場 | l | | | | |
| | (5) | | | んか?(市以外の | | | ∪7 71 17 | | 事務事業名等 | なし | | | | |
| | | | 類似の | 事業はない | | | | | | | | | | |
| | | | 類似の | 事業はあるが、 | 統合又は連携 | できない | | | | | | | | |
| L | | | 類似の | 事業があり、統 | 合又は連携で | きる | | (1.5)(| - 2 - 2 - 41 41 - | . 4 \= | , +. | _ 70. 11 | / NE / S FE = 3 | .) _ l. l. leke lake _ |
| | 6 | ·事務事 ·補助金 | 業の手具など、交 | g(やり方)を工夫で 付先に働きかけて | することで、事業費 、市の負担を削減 | 費を削減できません 載できませんか? | か? | 印刷製 | のための納付書 本費や消耗品 ア悪淵はのみ間 | が主な | 経費 | | | |
| | | | 削減で | きない | | | | して、彪 | 圣費削減の余 地 | 引れない | ,0 | | | |
| C 効 | | | 削減で | きる | | | | | | | | | | |
| 率性 | 7 | ・事務事できませ | 業の手段 | 设(やり方)を工夫で | することで、人件費 | 貴(延べ業務時間) | を削減 | | こ「納税おしらす の納税呼びか | | | | | |
| 吐 | | | | なや委託により人作 | 井費を削減できま | せんか? | | | 1,1702 1 0 11 | , = , , | | | 1112 | 7,112101011 |
| | | | 削減で | きない | | | | | | | | | | |
| L | | | 削減で | | | | | ыь —: | 63.4.1c. F.N.会は | ۲. Ja | コップリ | to oh to | 年出土/年を子 の | 事業べもり 八 |
| D | 8 | | | 容が一部の受益 負担の公平性が不 | | | | | 院伝により足の Eである。 | 541 C | 1 (2) | 又 神竹 [| 1年を117点の | 事業であり、公 |
| 公平性 | | | 公平・岔 | 公正である | | | | | | | | | | |
| 性 | | | 見直す | 必要がある | | | | | | | | | | |
| 7. | 1次 | 評価結 | 果 <f< th=""><th>PLAN>(組績</th><th>快定)</th><th>[金表]前</th><th>年度の改</th><th>革改善のプ</th><th>F向性《</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>></th></f<> | PLAN>(組績 | 快定) | [金表]前 | 年度の改 | 革改善のプ | F向性 《 | | | | | > |
| 1.0 | , , - - | 7 | D 75 # | 継続 | やり方改善 | コスト拡充 | | ·縮小 | 連携 | ļ . | 統合 | | 休止 | 廃止 |
| | | §事業∅ 方向性 | り改革 | 0 | O | コスト拡元 | 171 | 、胸口、 | 建 烷 | î | 机口 | | | .,,,, |
| H | | | | | _ | 性 のためコンビニ | 納付や | 口座振 | | と 更 な | ろ納ね | ジ環境 | 節の整備に取り | 組ま _P _ |
| (0) | · - | ± 0.7 Æ Ø | - o | 71147931 3711313 | H 31/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/ | 217,017 | 71111 | | H (1 / 2 1 1 () A E | -/- 5 | 2/11/1 |)L)() | a - > 1E Mil (= FDC) | 71200 |
| 革 | 收善 | 成27年月 の内容 | | | | | | | | | | | | |
| (取 | り組 | しむべき | 課題) | | | | | | | | | | | |
| | | | | (中代 关 24 平) | ×64711 2 +14 | 0 m 44 l 1/11 2 T | Toler 2 | 口(井)~4 | 141 次子な | | | (> _b | 11 - H244-51 | · + + 14 0 14 |
| | | | | 目、課税年度こ | どの納付額の | の収納状況を正 確認、重複納付等 に対して督促状 | 等の過割 | は納の適 | 正な還付、充計 | 当処理 | を行う | っ。また | こ、納期限内額 | 付の推進のた |
| | | 龙28年 | | る。 る。 | 、V '邢'17冗段7万日 | | 他口首 | ·V)[5] | 、口座旅省の指 | EÆ-C- | | — ₄ Х; | 机等少剂1177 | (本V)(公)(2 9 |
| [P] ⁽ [| 生・邦 | 以組目標 | Ř | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 | 9.4b | 評価結 | 田 /北 | 当部長評価) | | | | | | | | | | |
| σ. | 乙次 | 1 III 称[2] | 水 (1上 | | | | | | | | | | <i>I</i> + .L | rác.L |
| | | 务事業 <i>0</i> 向性 | D改革 | 継続 | やり方改善 | コスト拡充 | コスト | 縮小 | 連携 | 1 | 統合 | | 休止 | 廃止 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) |)総 | 評 | | | | | | | | | | | | |
| (- | -110 | # 1 | | | | | | | | | | | | |

| 事務 | 事業 ード | 0102020207010115 | 事務事業名 | | 市 | 税収納事務 | | 担当部担当部 | | 総務部 収納課 |
|----------|---------------|---------------------------------------|----------|-----------|--------------------|------------|--------|--------|-------------|---|
| 9. = | コストの |)推移 | | | | | | | | *************************************** |
| | | (単位:千円) | 平成26年 | F度 (決 | .質) | 平成27年度 | (当初予質) | | 平成28年度 | (計画) |
| 1 | 報 | ····································· | 1 /2/20- | | , 31- / | 1 1%21 +12 | (10) | | 1 1%20 — 1% | (піші |
| 2 | 給 | 料 | | | | | | | | |
| 3 | | 員 手 当 等 | | | | | | | | |
| 4 | 共 | 済 費 | | | | | | | | |
| 5 | | <u> 補償費</u> | | | | | | | | |
| 7 8 | <u>賃</u> 報 | <u>金</u> 償 費 | | | 954 | | | 999 | | 999 |
| 9 | 旅 | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | |
| 11 | 需 | 用 費 | | | 434 | | | 486 | | 486 |
| | | 耗品費 | | | 309 | | | 310 | | 310 |
| | 燃 | | | | | | | | | |
| | 食 FT | | | | 125 | | | 176 | | 176 |
| | 光 | | | | 120 | | | 110 | | |
| | 修 | | | | | | | | | |
| | 賄 | | | | | | | | | |
| | 館 | | | | | | | | | |
| 12 | 医 役 | 薬材料費 務 費 | | | | | | 0 | | |
| 12 | | | | | 0 | | | 0 | | 0 |
| | 広 | | | | | | | | | |
| | 手 | | | | | | | | | |
| | 保 | | | | | | | | | |
| 13 | 委 | 託 料 | | | | | | | | |
| 14 | | 料及び賃借料 | | | | | | | | |
| 15 | | 請負費 | | | | | | | | |
| 16 | | 材 料 費 財産購入費 | | | | | | | | |
| 18 | | <u> </u> | | | | | | | | |
| 19 | | # MP / 文 補助及び交付金 | | | 99 | | | 99 | | 99 |
| 20 | 扶 | 助費 | | | | | | | | |
| 21 | 貸 | 付 金 | | | | | | | | |
| 22 | | 填及び賠償金 | | | | | | | | |
| 23 | | 利子及び割引料 | | | | | | | | |
| 24 25 | | 及び出資金 立 金 | | | | | | | | |
| 26 | 寄 | 附 金 | | | | | | | | |
| 27 | 公 | | | | | | | | | |
| 28 | 繰 | 出 金 | | | | | | | | |
| | 計 | | | | 1,487 | | 1 | ,584 | | 1,584 |
| | 特區 | 庫支出金 | | | 0 | | | 0 | | |
| 財 | 特定財源 | : 支 出 金 : 方 債 | | | 0 | | | 0 | | |
| 財源内訳 | 源を | の他 | | | 0 | | | 0 | | |
| 訳 | , | | | | 1,487 | | 1 | ,584 | | 1,584 |
| | | 計 | | | 1,487 | | | ,584 | | 1,584 |
| ż | 甫助率 | 国 | | | | | | | | |
| | | 県 | | | | | | | | |
| | | 基本額 | | | _ | | | | | |
| 平成 | | を補正・流用も 13.25 | | FFO | | 度特定財源内訳 | | カエー | | |
| | | IJ予算 E予算 | 1, | .556 0 | | 区分 | | 名称 | | 金額 |
| | 7用 丄 | L J' JT | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | _ | | | | | | |
| | | | | \dashv | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | 流用 | ・充用 | | | | | | | | |

合 計

1,556

予算合計

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

| 1. 基本 | 情報 | | | | | | | | | |
|------------------|-----|----------|--------------|--|------------|------------|-------------|--------------|------|----------------|
| 事務事 | 業 | 01020202 | | | 古铅与 | 等徴収・滞納整理 🎚 | 自教 | | 担当部 | 総務部 |
| | , | 01020202 | J. 1010110 | 肋甲木口 | 1111/196 = | 打球权 "你们定还。 | 芦 4分 | | 担当課 | 収納課 |
| 政策 | 名 | 07 | 新たな行 | 政経営によ | るまち~ | づくり | | | グループ | 収納第1・2・3グループ |
| 施策 | 名 | 01 | 健全な則 | 政運営の | 隹進 | | | | 電話番号 | 45-5111 |
| 基本事 | 業名 | 01 | 歳入の確 | 催保 | | | | | 内線番号 | 1411.1423.1427 |
| 予 | 会計 | 一般 | 会計 | | | | ± ₩ | □ 単年度のみ | | |
| 算 | 款 | 02 | 総務費 | | | | 事業 期間 | ■ 単年度繰返 (開始年 | F度 S | 25 年度~) |
| 予 算 科 目 | 項 | 02 | 徴税費 | | | | 初申 | □ 期間限定複数年度(| (| ~) |
| 目 | 目 | 02 | 賦課徴収 | 7費 | | | 根拠法令·条例等 | 霧島市税条例、地方税法 | 等 | |
| 評価区 | · 分 | , | 画 淮評価 | 11111111111111111111111111111111111111 | F. 分象 | 1次評価 | 関連計画 | | | |

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

| ① 活動指標 (事務事業の活動量) | | 単位 | 24年度 (実績) | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (見込) | 28年度 |
|---|--|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ア財産調査数 | | 件数 | 57,724 | 76,308 | 92,338 | 85,000 | 85,000 |
| イ 差押件数 | | 件数 | 1,084 | 1,033 | 1,148 | 1,500 | 1,500 |
| ウ 執行停止数 | | 件数 | 506 | 627 | 1,366 | 600 | 600 |
| (2) 事務事業の目的 | | | | | | | |
| ② 対象 (誰、何を対象にしているのか) | ③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標) | 単位 | 24年度 (実績) | 25年度 (実績) | 26年度 (実績) | 27年度 (見込) | 28年度 (見込) |
| ア 市税を納めるべき人 | 現年度課税者数(A)+過年度課税未納者 (B)—(A)と(B)の重複者 | 人 | 97,635 | 97,918 | 97,466 | 98,000 | 98,000 |
| イ 国民健康保険税を納めるべき人 | 現年度課税者数(A)+過年度課税未納者 (B)—(A)と(B)の重複者 | 人 | 23,362 | 22,968 | 22,425 | 23,000 | 23,000 |
| <mark>ф</mark> | | | | | | | |
| 4 意図 | ⑤ 成果指標 | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
| (②対象をどうしたいのか) | (左記④意図の達成度を表す指標) | 単位 | (実績) | (実績) | (実績) | (目標) | (目標) |
| (②対象をどうしたいのか) ア 税金を納めてもらう | (左記4意図の達成度を表す指標) 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納 者(B)-(A)と(B)の重複者(市税) | 単位 人 | (実績) 8,905 | (実績) 7,581 | (実績) 6,975 | (目標) 6,500 | (目標) 6,500 |
| | 1 1 3 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | 0.00 | (3 2.13 () | | | |
| ア税金を納めてもらう | 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(市税) | 人 | 8,905 | 7,581 | 6,975 | 6,500 | 6,500 |
| ア 税金を納めてもらう | 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(市税) | 人 | 8,905 | 7,581 | 6,975 | 6,500 | 6,500 |
| ア 税金を納めてもらうイウ | 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(市税) | 人 | 8,905 | 7,581 | 6,975 | 6,500 | 6,500 |
| ア 税金を納めてもらう イ ウ (3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図 | 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(市税) 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(国民健康保険税) | 人人 | 8,905 5,406 24年度 | 7,581 4,585 25年度 | 6,975 4,315 26年度 | 6,500 4,100 27年度 | 6,500 4,100 28年度 |
| ア 税金を納めてもらう イ ウ (3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) | 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(市税) 現年度課税未納者数(A)+過年度課税未納者(B)—(A)と(B)の重複者(国民健康保険税) ⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標) | 人人 | 8,905 5,406 24年度 (実績) | 7,581 4,585 25年度 (実績) | 6,975 4,315 26年度 (実績) | 6,500 4,100 27年度 (目標) | 6,500 4,100 28年度 (目標) |

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和25年地方税法の施行により開始・平成19年に 三位一体改革の一環として、所得税を減らし市民税を 増やすの国の税源移譲が行われ、市民税の税額が増 えることとなった。これにより、県においても県税の未納 者が増加している。。 ・景気不沢や進出企業の撤退もあり、大変厳しい雇用 環境が続いている状況の中、滞納者からは滞納処分 に対する不満の声が寄せられるが、一方、不公平感が ないように滞納処分を強化し滞納者を減らすべきとの 意見や、市税に比べ国民健康保険税の収納率が低い との住民意見等がある。また、この事業に関する議会か らの意見は、特になし。

| 4. 事業費の推移 | | | | | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-----------|------------|------|---|----|----|---|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | T. 于米克·沙压沙 | | | | | | 丰区 | (決算) | (決算) | (決算) | (計画) | (計画) |
| | | | 玉 | 庫は | と出 | 睁 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 事業費 | 財源内訳 | 県 | 支 | 出 | 金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 地 | 7 | 5 | 債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | そ | 0 |) | 他 | 千円 | 3,000 | 16,773 | 3,362 | 3,000 | 3,000 |
| 投入量 | | | _ | 般 | 財 | 源 | 千円 | 26,780 | 14,433 | 28,300 | 34,220 | 34,220 |
| 量 | | 事業費 | | | | | 千円 | 29,780 | 31,206 | 31,662 | 37,220 | 37,220 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

差押件数 1,148件 換価件数 1,178件 差押金額 425, 515, 565円 換価金額 60, 789, 711円

執行停止件数 1,366件 金額 343, 448, 838円 滞納処分については、預貯金、給与、生命保険、家賃など債権差押のほか、不動産差押や家宅捜索を行い動産差押を実施した。また、市単独による不動産公売など、通常の換価手続きに加え、税務署や県との合同で公売会を実施するなど、徹底化を図った。加えて、相続人不存在滞納事案での相続財産管理人選任申立を行うなど、困難案件の更なる解消に努めた。

ーカッパー。 滞納処分の強化により、ここ数年、全体の収納率が向上してきた。

| 事務事業コード | | 01020 | 90207010116 事務 事業名 市税等徴収・ | | | 帯納整理 | 担 | 当 | 部 | | 務部 | | | |
|---------------------------|---|---|--|---|--------------------|---------------------|-------------|-----------|--------------------------------|------|---------|--------------------|-------------------|--|
| 6 | | <u>「</u> 返り < | 'SEE' | | 争未石 | | | | | 担 | 当理 | 課由 | ДХ | 納課 |
| <u> </u> | | | | | 事業の意図に終 | 古びついています | トか? | 税金を | を確実に納付し | てもら | ううたと | かに行 | 「う事務であり この事務事業 | 、債務を確実に の目的は、基本 |
| A目的妥当性 | | | | いている | | | | | 意図に結びつ | | |). ₁ 0, | 二切爭伤爭未 | の日別は、産年 |
| | | | | ・・・・・ 」に結びついてい | \る | | | - | | | | | | |
| | | | 結びつ | いていない | | | | - | | | | | | |
| | (2) | ・この事 | 業をな | ぜ市が行わなけ | ればならないの | つですか? | | | | | | | | 納税の義務を負 原であり、その賦 |
| Œ | | ・祝金 | 妥当で | <mark>て達成する目的</mark> ある | 109707 | | | | スについては地 | | | | | |
| | | | | ·必要がある | | | | | | | | | | |
| | (3) | 成果が | お トす | る余地(可能性) | はありませんか | 12 | | 更に循 | 放底した財産調 | 査を | 行うこ | とで、 | 対象者の納利 | 党資力をより客 |
| | • | | | | | • | | なるため | 性姪でさ、よりり り、徴収率の向 しらせセンター | 上が | 期待~ | できる | 。また、平成2 | 行うことが可能と 14年度から開始 穏呼びかけに |
| | ~ | | | | | | ついて | | 未納 | 者の | 載少な | | とから、この事 | |
| | | | | る余地はほとん | | | | | | | | | | |
| | (4) | 廃止•(| 木止の影 | /響はありません | <i>か</i> ? | | | 地方和 | 説法に基づく事 | 務事 | 業でる | あり、こ | この事業は廃 | 止できない。 |
| B有効性 | • | | . — | 彩音はありませんか? | | | | | | | | | | |
| 性 | | | | | | | | - | | | | | | |
| | (5) | 類似の | 目的(対 | 対象・意図) 又は | | 啓発等)を持つ他 | の事務 | | 事業がある場 | なし | | | | |
| | • | 事業は | | <mark>んか?(市以外の</mark> 事業はない | | 合の | 事務事業名等 | 1.20 | | | | | | |
| | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 統合又は連携 | できない | | _ | | | | | | |
| | | | | 事業があり、統 | | | | | | | | | | |
| C | 6) | *事務事 | 業の手段 | 设(やり方)を工夫で | することで、事業費 | を削減できません | か? | | | | | | | (等の印刷経費)付象物件の鑑定 |
| | | ● | 削減で | 付先に働きかけて | 、中の貝担を削減 | は できませんか? | | の為の | | 経費で | | | | 多手段として、経 |
| | | _ | 削減で | | | | | | 7,711 2,101 511 (| | | | | |
| C効率性 | | | | 设(やり方)を工夫で | することで、人件費 | 貴(延べ業務時間) | を削減 | | | | につ | ハてに | は手を緩めるこ | とはできず、人 |
| 性 | ⑦ できませんか?・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか? | | | | | | 件貨の | 削減の余地は | /τ ν ,° | | | | | |
| | ■ 削減できない | | | | | | | | | | | | | |
| | | = 77 = | 削減で | | | - | | | おけにより合い | とわっ | コップ | Alferday a | 2.行5巻の事 | 業であり、公平・ |
| D 公 | 8 | 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? | | | | | | | 元伝により足の ある。 | 541 | . v 'る' | | £11.7ल♥/爭/ | そ このり、公子・ |
| 公平性 | | ■ 公平・公正である | | | | | | | | | | | | |
| <u>'-</u> | | | 見直す | ·必要がある | | | | | | | | | | |
| 7. | 1次 | 評価結 | 果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>决定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th>継</th><th>続・弋</th><th>り方</th><th>改善</th><th>></th></f<> | PLAN>(組織 | 决定) | 【参考】前 | 年度の改 | 革改善の方 | 向性≪ | 継 | 続・弋 | り方 | 改善 | > |
| | | 務事業の | D改革 | 継続 | やり方改善 | コスト拡充 | コスト | 縮小 | 連携 | | 統合 | | 休止 | 廃止 |
| 改善 | 小り | 方向性 | | 0 | 0 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 保険、滞納者宅 を通じての換価 | | | | | | | | |
| | | 成27年月 | 度の改 | | るため、徴収職 | 員がより早期 に | | た財産 | 調査を行うこと | をはじ | め、よ | り徹月 | 底した納税折 | 衝・差押等を行 |
| | | の内容 | 課題) | える技量を習得 併せて、コント | するため、課 ビニエンストアー | 可研修を充実させ ・収納や口座振 | 「る。 替を推進 | し、自主 | 納付をしやす | い環境 | 竟作り | にもき | 努める。 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | を行う事務事業 | | かった納税者(| | ·· · · - | | | | | | |
| | | 成28年 月 | | においても納付 | †されない場合、 | の納付を督促する滞納者の預金調 | 調査、給 | :与調査、 | 不動産調査等 | 節の財 | 産調 | 査を行 | 亍い、財産がな | あるにも関わらず |
| 同性 | 生・耳 | 文組目標 | Ē | 滞納者は、滞納 | | 易合は財産を差: 停止する。 | けた、作 | が火ビスで | ど117。なわ、タ | 1)生训 | 重の | 福 未、 | 、作的処力で | ロン州 座のない |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. | <mark>2次</mark> | 評価結 | 果(排 | 当部長評価) | | | | | | | | | | |
| | | | | 継続 | おいナントギ | コフレザカ | 771 | 绽山 | ·声 ## | | な へ | | 休止 | 廃止 |
| (1)事務事業 <i>0</i> 改善方向性 | | ソ以手 | | やり方改善 | コスト拡充 | 171 | 縮小 | <u>連携</u> | | 統合 | | | | |
| | | | | | <u> </u> | <u> </u> | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) | 総 | 評 | | | | | | | | | | | | |

| 事務事業 0102020207010116 | 事 務 事業名 | 市税等徴収·滞納整理事務 | 担当部 | 総務部 | | | | | |
|-----------------------|------------|--------------|-----|-----|--|--|--|--|--|
| コード | | 巾悦寺倒収•滞納登理事務 | 担当課 | 収納課 | | | | | |
| . 10-40 | | | | | | | | | |

| 9. = | コストの推移 | | | |
|-------|-----------------------------------|-------------|---------------|------------|
| | (単位:千円) | 平成26年度 (決算) | 平成27年度 (当初予算) | 平成28年度(計画) |
| 1 | 報酬 | | | |
| 2 | 給 料 | | | |
| 3 | 職員手当等 | | | |
| 4 | 共 済 費 | | | |
| 5 | 災害補償費 | | | |
| 7 | 賃 金 | 2,135 | 2,230 | 2,230 |
| 8 | 報 償 費 | 000 | 1.000 | 1.000 |
| 9 | 旅費 | 930 | 1,000 | 1,000 |
| 10 | 交 際 費 需 用 費 | 3,122 | 3,757 | 3,757 |
| '' | 消耗品費 | 824 | 888 | 888 |
| | 燃料費 | 907 | 822 | 822 |
| | 食糧費 | 301 | 022 | 022 |
| | 印刷製本費 | 1,096 | 1,527 | 1,527 |
| | 光熱水費 | 1,000 | 1,021 | 1,021 |
| | 修繕料 | 295 | 520 | 520 |
| | 賄 材 料 費 | | | |
| | 飼 料 費 | | | |
| | 医薬材料費 | | | |
| 12 | 役 務 費 | 15,784 | 19,159 | 19,159 |
| | 通信運搬費 | 13,750 | 15,821 | 15,821 |
| | 広 告 料 | 4 | 10 | 10 |
| | 手 数 料 | 1,852 | 3,000 | 3,000 |
| | 保 険 料 | 178 | 328 | 328 |
| 13 | 委 託 料 | 9,575 | 10,894 | 10,894 |
| 14 | 使用料及び賃借料 | 36 | 33 | 33 |
| 15 | 工事請負費 | | | |
| 16 | 原材料費 | | | |
| 17 | 公有財産購入費 備 品 購 入 費 | | | |
| 18 | 1/用 ロ ハ 八 貝 負担金補助及び交付金 | 66 | 68 | 68 |
| 20 | 扶 助 費 | 00 | 08 | 08 |
| 21 | | | | |
| 22 | 補償補填及び賠償金 | | | |
| 23 | 償還金利子及び割引料 | | | |
| 24 | 投資及び出資金 | | | |
| 25 | 積 立 金 | | | |
| 26 | 寄 附 金 | | | |
| 27 | 公 課 費 | 14 | 79 | 79 |
| 28 | 繰 出 金 | | | |
| | 計 | 31,662 | 37,220 | 37,220 |
| | _特 国庫支出金 | 0 | 0 | |
| 財 | 定 県 支 出 金 | 0 | 0 | |
| 財源内訳 | 特 | 0 | 0 | |
| 訳 | C 97 15 | 3,362 | 3,000 | 3,000 |
| 147 < | 一般財源 | 28,300 | 34,220 | 34,220 |
| | 計 | 31,662 | 37,220 | 37,220 |
| * | 補助率 国 | | | |
| | | | | |
| 補 | 助 基 本 額 | | | |

平成26年度補正•流用状況

| 当初予算 | 37,534 |
|-------|--------|
| 補正予算 | -3,000 |
| 補正第7号 | -3,000 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 流用・充用 | -96 |
| 予算合計 | 34,438 |

平成26年度特定財源内訳

| 区分 | 名称 | 金額 | | | | |
|-----|----------|-------|--|--|--|--|
| その他 | 税務手数料 | 3,362 | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | <u> </u> | 3,362 | | | | |